



# おかむら通信 166号

平成 31 年 2 月号



## ご挨拶

こんにちは、みなさま、お元気ですか、  
あるひとのことば、この世に生きているだけで意味がある、平凡で価値のない人  
はいない。 うーん、医師のことばです。

## 今月の言葉

今回は、医師としても技術的なお話をしました。今回は観念的なお話をすると。  
医師としてすべきこと、結局は、患者さんに共感し悩みを共有する事なのかしら。  
これが結構むずかしい。それと患者さんにもお願いしたいのは、みずから考え、  
自ら実行する、これが奇跡を生む一歩になると思います。 (院長)

## 院長より雑感

- ① 皆様にお願ひ、高血圧症の方々 血圧手帳 大事にしてください。家などで  
の血圧も院長に教えてください。より正確な診断、治療に有益であることこ  
の上ない。いつもお話ししていますが、病気は一緒に戦うものなのです。
- ② もう一つ、高齢の方の血圧治療について、誤った考えが横行しています。一  
般ドクターにも、皆様にも。診察室でお話ししましょう。
- ③ わかったこと、  
松戸市の統計では、全国平均レベルとくらべて糖尿病患者さんの治療成績が  
良くない、問題あり、との指摘があります、一般の開業医のうでが悪いの  
かな？でもそんなにいい加減のようにも思えないのですが。そこで当院の糖  
尿病の患者さんのカルテをほとんどみなおしましたところ、なんと  
HbA1C7.0 以下 6.0 以下の方々が 97%おられました。
- ④ 病気は症状が出る前の段階で発見し手を打つこと。すると大成功、病気に打  
ち勝つのです。
- ⑤ 毎日のプランニングについて 患者さんの日常の診療が妥当なものか？気  
になった患者さんの再計画を繰り返しています。一緒に頑張りましょうね。
- ⑥ じっとしていて動かない事象はほとんどない。病気においても、自分が感じ  
ないだけです。みなさんも心の目で、ちいさな異変を感じてください。
- ⑦ 20万人にひとりという稀有な疾患が発見されました。即、先端医学研究の進  
んだ病院に紹介しました。
- ⑧ 疾病について：自覚症状は90%ない、と考えております。またしつこいですが  
同じこと、いかに症状が出る前にわれわれが病気を発見するかにかかって  
います。





- ⑨ 療育 ということばについて/かつて学生時代に、議論しました。障害を持つ子供が社会的に自立することを目的として行われる医療と教育（保育）ということです。とても深い意味があります。ヒント、現代医学で、治りにくい病気があります。あきらめないで、研究、努力されている方々がいます。例えば、一例をあげると、重症心身障害：重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複している病態。
- ⑩ テレビの悪弊について：日常の診察中にお話ししております。本当のことを理解していただくのに時間がかかってしまうのです。
- ⑪ 再び言います、帯状疱疹ヘルペス・ヘルペス後神経痛でつらい思いをされている方、突発性難聴、発症後、早い時期の方、当院で神経ブロックをしてみませんか？
- ⑫ すみません、重症な病気の方々が多くなってきています、精神疾患（軽症から重症まで）も増えてきました。時間がかかってすみません。
- ⑬ 今、ものすごいいきおいで流行している A 型インフルエンザは、かなりきついウィルスです。繁殖のスピードが早く、病状が見る間に悪化してます。治療するまでの免疫力の低下、それに伴う合併症の急な出現、気管支炎・肺炎・咽頭喉頭炎の悪化、食思不振から脱水状態に陥ります。とくに小児、高齢の方がたの命に係わる可能性が高いので、医療機関に素早く的確な治療をしていただくのが得策でしょう

### 1月 院長の活動

- 2/ (水) : お正月 中国の奨学生 2 名 来宅 院長自宅
- 6/ (日) : アレルギー疾患 勉強会 有楽町 国際フォーラム
- 13/ (土) : 米山記念奨学生・カウンセラー新年会 千葉市
- 19/ (木) : 松戸市医師会新年会 古希のお祝い 東京 有楽町にて
- 21/ (月) から 25/ (金) まで 順天堂大学医学部 5 年生 F/H 君 当院にて  
実習されました。 大学では味わえない、恐ろしいほどの医療現場の現状に感激されていました。
- 31 (木) 日本・ルーマニアスポーツ交流協会 副理事長 ミハエラ・クリステイナさん、某 R クラブにオブザーバー参加の仲介 「国際平和・紛争解決のヒント」 松戸

先日、関東でも雪が降りましたね。  
以前は子供達と、雪だるまを作って  
遊んだ事を思い出しました。

皆さん、足元を気を付けながら、歩きましょう！

島村

